

令和元年度(2019 年度)

病害虫発生予察情報 第19号

主要病害虫の発生概況

北海道病害虫防除所 令和元年(2019 年)10 月 28 日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshoh/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

10 月 1 日現在における主要病害虫の発生概況は下表のとおりです。

なお、「近年の発生状況」は平成 26 年から平成 30 年までの発生状況を示しており、◎はやや多～多、□は並、△はやや少～少を表しています。各年の発生状況は、それぞれ過去 10 年間の平年値との比較による評価です。

本年注意報を発表した病害虫は、病害虫名の後に「(注)」と記しました。

作物名	病害虫名	近年の発生状況					本年の発生期・発生量	
		26	27	28	29	30	発生期	発生量
水稲	いもち病(葉)	△	△	△	△	△	やや遅	少
	いもち病(穂)	△	△	△	△	△	並	少
	紋枯病	◎	◎	◎	◎	□	並	やや少
	縞葉枯病	△	□	□	□	□	—	並
	ばか苗病	□	□	□	□	□	—	並
	苗立枯病	(△)	(□)	□	□	□	—	並
	種子伝染性細菌病	(△)	(△)	△	△	△	—	少
	ニカメイガ	△	△	△	△	△	やや早	少
	セジロウンカ	△	△	△	△	△	やや遅	並
	ヒメトビウンカ	□	□	◎	◎	□	やや早	多
	イネドロオイムシ	△	△	△	△	△	並	少
	アカヒゲホソミドリカスミカメ (注)	△	△	△	△	△	早	多
	イネミギワバエ	◎	◎	◎	□	◎	並	やや多
	フタオビコヤガ	△	△	△	△	△	並	少
秋まき小麦	赤さび病	□	△	△	△	◎	やや早	多
	うどんこ病	△	△	△	△	△	並	やや少
	雪腐病	□	△	△	◎	□	—	少
	眼紋病	△	△	△	△	△	—	やや少
	赤かび病	△	△	◎	△	◎	—	少
春まき小麦 (春まき)	赤かび病	△	△	□	□	◎	—	少
	ムギキモグリバエ	△	△	△	△	△	早	やや多
春まき小麦 (初冬まき)	赤かび病	△	△	□	◎	◎	—	少
	ムギキモグリバエ	(△)	(△)	△	△	△	早	少
大豆	べと病	△	△	△	□	△	並	やや少
	わい化病	△	△	□	□	□	—	並
	マメシンクイガ	◎	□	□	□	△	並	少
	食葉性鱗翅目幼虫	◎	△	△	△	△	並	やや少
	タネバエ	△	△	△	△	△	—	少

注1)発生期の—は初発期が評価できない病害虫であることを示す。

注2)()は、平年値が無い場合暫定的な評価であることを示す。

作物名	病害虫名	近年の発生状況					本年の発生期・発生量	
		26	27	28	29	30	発生期	発生量
小豆	菌核病	△	△	□	□	△	やや遅	やや少
	灰色かび病	△	△	□	◎	□	並	やや少
	茎疫病	△	△	△	△	□	—	少
	落葉病	△	△	△	□	◎	—	少
	食葉性鱗翅目幼虫	□	△	△	□	□	やや遅	やや少
菜豆	菌核病	△	△	□	□	△	並	並
	灰色かび病	△	△	□	△	△	やや早	やや少
	黄化病	△	□	□	□	△	—	やや少
	タネバエ	△	△	△	△	△	—	少
ばれいしょ	疫病	△	△	△	△	△	やや遅	少
	塊茎腐敗	□	△	◎	△	△	—	少
	軟腐病	□	□	◎	◎	◎	—	並
	黒あし病	□	□	◎	◎	□	—	並
	そうか病	□	□	△	△	△	—	並
	粉状そうか病	△	△	□	△	□	—	少
	アブラムシ類	□	◎	△	△	△	やや早	少
てんさい	褐斑病	□	△	□	△	△	並	少
	根腐病(黒根病を含む)	△	△	◎	△	△	—	少
	そう根病	△	△	△	□	□	—	並
	黄化病(西部萎黄病)	—	(□)	(△)	(△)	△	—	少
	ヨトウガ (第1回) (注)	◎	△	△	△	△	早	やや少
	ヨトウガ (第2回)	◎	△	△	△	△	早	少
	テンサイモグリハナバエ	△	△	△	△	△	並	少
たまねぎ	白斑葉枯病	△	△	△	△	□	並	少
	軟腐病	△	△	◎	□	◎	—	少
	乾腐病	□	△	△	△	△	—	少
	タマネギバエ(タネバエを含む)	△	△	△	△	△	—	やや多
	ネギアザミウマ (注)	◎	◎	◎	△	△	早	多
	ネギハモグリバエ	—	—	(△)	(△)	△	並	やや少
ねぎ	さび病	△	△	△	△	△	—	少
	ネギアザミウマ (注)	△	△	△	△	△	早	並
にんじん	黒葉枯病	△	△	△	△	□	—	やや少
だいこん	軟腐病	△	□	◎	△	□	—	やや多
	キスジトビハムシ	△	△	△	△	△	—	やや少
キャベツ	コナガ	△	△	△	△	△	並	少
	ヨトウガ (注)	□	△	△	△	△	早	少
ブロッコリー	コナガ	—	—	(△)	(◎)	□	並	やや少
	ヨトウガ (注)	—	—	(△)	(△)	□	早	やや少
りんご	モニリア病	△	△	△	△	△	やや遅	少
	黒星病 (注)	◎	◎	◎	◎	◎	やや早	多
	斑点落葉病	◎	◎	◎	◎	◎	並	やや多
	腐らん病 (注)	□	◎	◎	◎	◎	—	多
	ハマキムシ類	◎	△	△	△	△	早	少
	モモシンクイガ	◎	◎	△	△	△	やや早	少
	ハダニ類	△	△	△	△	△	並	やや多
	キンモンホソガ	△	△	△	△	△	並	やや少
	ネズミ類	△	△	△	△	□	—	やや少

農薬の適切な保管管理と空容器等の適正な処分に努めましょう!!

■ 農薬の保管管理等に当たって

農作業も終盤となり農薬を使用する機会も少なくなりますが、使い残した農薬は適切に保管管理するとともに、空容器等は適正に処分するようにしてください。

- 1 農薬は乾燥した冷暗所に保管箱又は保管庫を設置し、施錠して保管してください。
- 2 農薬の誤用を防止するため、種類別に分類整理して保管してください。特に除草剤は、誤って使用すると薬害等の被害を招く恐れがあるので、他の農薬と明確に区分してください。
- 3 毒物又は劇物に該当する農薬は、毒物及び劇物取締法により容器や包装、保管場所への表示等が定められていますので、これを遵守してください。
また、消防法に基づく危険物に該当する農薬は、貯蔵及び取扱いの基準が定められているので、これを守ってください。
- 4 誤飲等を防ぐため、農薬は他の容器への移し替えや小分け、特に食品容器への移し替えは行わないようにしてください。
- 5 使用済みの農薬の空容器は、他の用途には絶対に使わないでください。
また、農薬の空容器及び残農薬の処分に当たっては、関係法令に基づき適正な処分に努めてください。
なお、農薬の空容器の処分に当たっては、容器内に農薬が残らないよう十分に除去してください。

農薬に関してのお問い合わせは

道庁農政部生産振興局技術普及課（TEL:011-231-4111(内線)27-838）

北海道病虫害防除所（TEL0123-89-2080）

または最寄りの総合振興局・振興局農務課にご照会ください。

登録情報や農薬取締法等については

農林水産省ホームページの「農薬コーナー」(<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>)をご覧ください。